平成 24 年 11 月吉日

山口かずゆき全国後援会　関係各位

山口かずゆき全国後援会
会　長　　奈良　勲
日本理学療法士協会
会　長　　半田　一登
日本理学療法士連盟
会　長　　田中　昌史
前衆議院議員・次期参議院選挙候補予定者
山口　かずゆき

参議院選挙、リハビリテーション団体自立までの挑戦にご支援のお願い

謹啓　向寒の候、各位におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃、山口かずゆきの国政活動ならびに全国後援会の組織づくりに格別のご支援、ご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

突然の衆議院解散によって、天からの授かりものとも言えた「理学療法士の議席」を失うこととなりました。衆議院議員当選からこれまでの間、震災特区訪問リハビリステーションの認可、急性期リハビリテーションの充実、診療・介護報酬の増額、介護給付費分科会でのヒアリング、国会（永田町）において「リハビリテーション」がようやく認識されるなど、リハビリ専門職の立場は飛躍的に向上しました。
私どもの組織代表が議席を有することは、リハビリテーション発展の「大きな力」となることを強く認識するものでした。

しかしながら、国政の場においては未だに「医療と介護」であり、政策議論の当初からリハビリテーションが取り上げられることはありません。「医療・リハビリ・介護」を国会と国民の共通認識とし、訪問リハビリステーションの実現・身分法の改正など道半ばの政策を実現しなければなりません。

そのためにも、失った議席を何としても取り戻さねばなりません。
山口かずゆきは、次期（平成 25 年 7 月）参議院議員選挙の候補予定者として、リハビリテーション業界の全面支援を受けて全力で活動してまいります。そして、リハビリテーション団体の自立を図り、我々専門職が名実ともに高齢社会日本を支える中核となるべく挑戦を続けてまいります。

参議院議員として議席を取り戻すため、そして、理学療法士議員不在の参議院議員選挙まで間に政党や関係議員との折衝を容易とするため、山口かずゆき全国後援会の組織づくりにこれまで以上のご支援とご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白